

## 令和5年度 えりも町総合教育会議議事録

1 日 時 令和5年12月4日（月）

### 2 出席者

(1) 町 副町長、総務課長

(2) 教育委員会 教育長、西川委員、田名部委員、川崎委員、三谷委員、学校教育課長、  
社会教育課長

### 3 議事録

開会（午後4時00分）

#### 教育長

- ・町長は体調不良により欠席
- ・「今後のえりも高校について」資料に基づき説明

#### 副町長

- ・人口減、少子高齢化、移住等について  
子どもの数が少ない  
どのような形・施策をとれば良いのか考えながら取組んでいる状況  
今年からは、医療費を中学校まで伸ばした。  
なかなか「これをやれば」というのがない。
- ・えりも高校の先生について  
就職にしても、進学にしても手厚く、結果を出している。  
2間口で今までやってきたが厳しい状況になってきている。

#### 委員A

- ・子どもの数、町全体の人口減、自然現象、えりも高校をなくした場合の弊害は、相当なものがあるのではないかと。できれば維持していきたいのが本音である。
- ・高校の進学率に光を当て、相当の実績があつて、国公立へ小さい学校から行くのは全国的にも稀ではないのか。
- ・数年先には生徒数の激減もあり1間口にならざるを得ない。
- ・全体の6割がえりも高校へ行っているが、その6割が毎年縮小している。生徒数20名を切る危機的な状況になってくる。
- ・仮に全道・全国応募をかけたとしても、その進学率はどうなのか疑問である。寮・下宿を整備したとしても、来てくれなければ経営は成り立たない。
- ・色々な状況を考えたとき、「えりもの子はえりもで育てる」の意識づけが大事なのではないか。漁業の町、主は昆布漁、昆布に光を当てた「昆布学」みたいな。
- ・えりも高校の「昆布学」で知識を得た子どもが次へステップアップするか否か、わからない。

・就職に繋がるようことを考えていけば、人口減少はあるが、何とか維持できるのではないかな。

#### 副町長

- ・海の中だけの養殖だけではなく、陸の上で養殖できる形になっている。えりも町に合うような、どのような形で養殖していけば良いのかなど、考えていく必要がある。
- ・育てる漁業をしていかなければと思っている。
- ・「えりもの子はえりもで育てる」が一番大事だと思っている。
- ・自分の思ったところに就職・進学できるというのは、えりも高校でやっている部分なので、なくしたくない。

#### 委員B

- ・「えりもの子はえりもで育てる」を一番実感しているのは親ではないか。
- ・保護者の声も合わせて発信することで、まだ、えりも高校の取組を知らない人へ周知できるのではないかな。

#### 副町長

- ・良い取組みをしているが、なかなか町民の理解が得られていない。
- ・保護者以外の町民が知る機会がない。
- ・幼い子がいる家庭への周知考えていきたい。

#### 委員C

- ・育てるにあたって保護者・各家庭が漁業者であれば将来的に貢献してもらおう形が一番良い。
- ・各家庭でえりもに残せるような貢献づくりをしていってもらいたい。

#### 副町長

- ・後継者がいない方々もいる。相対的に漁業者の数も少なくなっている。
- ・どう増やしていくか、どういうやり方があるのか。昆布を採ることはできるが選葉できない等になると、みんなでどんな方法があるのか、相対的に考えていくようにしなければならない。

#### 教育長

・今後の中学校生徒数の推移を軸にしていかなければならないと思っている。2～3年の間にえりも高校について協議していくことが必要である。

#### 教育長

次の議題に移ります。

- ・「小規模校について」資料に基づき説明

**副町長**

- ・地域で結論を出していただければと思う。

**委員A**

- ・東洋のときとは違う。違う考え方なのかと思う。
- ・もう少し慎重に児童生徒数の推移はわかるが、学校というものの持続を考えていただきたい。

**委員B**

- ・早いから良いのではなく、東洋小学校のように2年かけて子どもたちをえりも小学校へ通わせて、保護者の不安を取り除くように、保護者も小学校へ行って説明を受けて、時間をかけてやった結果、子どもたちも馴染めている。
- ・子どもが大人数でいた方が良いということもあるが、まずは子どもたちのことを考えていったら安心という訳ではないので、今後、話し合いしていかなければと思う。

**委員C**

- ・児童も保護者も地域の方々も。文化、それぞれの地域の特色が違うので、真剣に考えていかないとならないと思う。

**委員D**

- ・学校がなくなると火の消えた地域になると聞いた。
- ・行政や色々な人にお世話になって児童がえりも小学校へ来るまでの準備期間をやってもらい、今は娘も楽しく通っている。
- ・笛舞小学校に関しても、あまり急いで良いことはないと思うので、順を追って地域と保護者とみんなが納得した上であれば、地域とのわだかまりもなく仕方ないよとなればと思う。
- ・先生方が減るのはわかるが、順を踏んでみんなが理解して、地域のためにどっちが良いのか考えていただきたい。

**副町長**

- ・急ぐことなく地域の中で色々話し合いをしながら、また子どもたちのケアもしながら、大丈夫だという状況にならないとうまくいかないと思う。
- ・教育委員会の方と情報共有しながら、色々な形でやっていきたいと思う。

**教育長**

- ・2回目の話し合いは、委員さんにも参加してもらい、結論は急がずしていきたい。

閉会（午後4時58分）